

2019年10月2日

脳神経内科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「持続性吃逆を呈する帯状疱疹の臨床的特徴の解明」への 研究協力をお願い

脳神経内科では、過去に下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2002年4月～2019年8月に当科において、帯状疱疹あるいは視神経脊髄炎による持続性吃逆症と診断され治療を受けられた方

研究期間：倫理審査委員会承認日～2020年3月31日

研究目的・方法：

持続性吃逆の原因として視神経脊髄炎のほか、ウイルス性髄膜脳炎によるものも知られています。帯状疱疹感染症によって持続性吃逆を来すことは稀で、臨床的特徴は明らかではありません。本研究では、帯状疱疹による持続的吃逆の臨床的特徴を明らかにするとともに、視神経脊髄炎による持続性吃逆との違いを明らかにする目的で行います。

研究に用いる試料・情報の種類：

治療等開始前の検査・評価項目

- 一般身体所見：血圧、体温、皮疹の有無、咽頭所見、脳神経麻痺の有無
- 血液検査：白血球数、ヘモグロビン、血小板数
- 生化学検査：総タンパク、アルブミン、AST、ALT、Na、K、Cl、CRP、IgG、
- 血清学的検査：抗 AQP4 抗体、VZV-IgM、VZV-IgG
- 髄液検査：髄液細胞数、タンパク、糖、Cl、VZV-PCR、VZV-IgM、VZV-IgG
- 自覚症状
- 頭部 MRI 検査所見、脊髄 MRI 検査所見

治療等終了時の検査・評価項目

- 治療等開始前の検査・評価項目
- 一般身体所見：血圧、体温、皮疹の有無、咽頭所見、脳神経麻痺の有無
- 血液検査：白血球数、ヘモグロビン、血小板数
- 生化学検査：総タンパク、アルブミン、AST、ALT、Na、K、Cl、CRP、IgG、
- 血清学的検査：VZV-IgM、VZV-IgG
- 髄液検査：髄液細胞数、タンパク、糖、Cl、VZV-PCR、VZV-IgM、VZV-IgG
- 自覚症状、吃逆持続期間（日）、ステロイド投与から吃逆消失までの期間（日）
- 頭部 MRI 検査所見
- 後遺障害の有無、有害事象

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究に関する質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会の承認を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

連絡先

岐阜大学大学院医学系研究科 脳神経内科学分野
岐阜大学医学部附属病院 脳神経内科
電話番号 058-230-6254
氏名：林 祐一

研究責任者

岐阜大学医学部附属病院 脳神経内科
氏名：林 祐一